

資料提供
平成 26 年 4 月 22 日
課名 被爆者支援課
放射線被曝者医療国際協力
推進協議会 (HICARE) 事務局
担当者 岩崎, 木曾
内線 3109 直通 228-9901

IAEA-HICARE 協働センターの指定及び記念式典の開催について

1 要旨

平成 26 年 5 月に HICARE (放射線被曝者医療国際協力推進協議会) は, IAEA (国際原子力機関) より協働センター (collaborating centre) に指定されることとなった。

国内 2 件目 (世界で 22 件目) の指定であり, HICARE の様なコンソーシアムに対する協働センターの指定は, IAEA 初となる。

IAEA からは認定プレートが贈呈されることから, これを記念して式典と講演会を開催する。

2 IAEA 協働センター指定について

(1) 指定の意義

IAEA 協働センターとは, IAEA の要求水準を満たす高い技術力持つ研究機関等が IAEA の指定を受け, 協働して研究・技術開発・研修等に関するプロジェクトを推進するものである。

HICARE は IAEA と覚書を締結し (H22.8.6), 被曝者医療の分野で協働事業を実施してきたが, この度の指定は, これまでの取組と広島が培った被曝者医療に関する総合力が国際的に高く評価されたことを示すものである。

(2) 協働事業分野

- 緊急被曝医療
- 放射線の人体影響とリスク管理 等

(3) 期待される効果

- IAEA との協働研究の実施による研究集積
- 教育・研修プロジェクトの開発と継続的な実施による人材育成
- IAEA のネットワークを活用した国際貢献・情報発信の充実・強化 等

3 記念式典・講演会

日時	平成 26 年 5 月 26 日 (月)	13:00～ 記念式典・記者会見 14:00～ 講演会
会場	リーガロイヤルホテル広島 (広島市中区基町 6-78)	
出席者	IAEA ヒューマンヘルス部チェム部長 HICARE 大久保会長, 広島県知事, 広島市長, 広島大学長 等	

IAEA との協働に関するこれまでの取組

H26. 4. 22 被爆者支援課

時 期	内 容
H22.8.6	IAEA 天野事務局長来広。HICARE と協働事業に係る覚書締結。
H23.10.31	IAEA 本部訪問。共同研究等の実施事業協議。
H23.11.23 ～11.24	In cooperation with the IAEA 2011 HICARE 国際シンポジウム開催。 2 日間で計 540 人参加。
H24.3.20	IAEA 本部「生物学的線量評価の強化」研究連絡会議出席。
H24.7.2	IAEA 本部「放射線と心臓・脳血管疾患に関する疫学調査」研究顧問会議出席。
H24.7.9	IAEA・IEC 研修プログラムへ講師派遣。
H25.1.21	IAEA からの派遣医師 2 名（スリランカ・フィンランド）の受入研修実施（5 日間）。
H25.6.10 ～6.14	生物学的線量評価に関する研修会開催。9 か国 15 人が受講。
H25.10.1 ～12.31	IAEA へ医学生 1 名をインターン派遣。
H25.10.28 ～11.1	緊急被ばくに関する国際医療研修会の開催。8 か国 31 人が受講。
H26.2.17	IAEA からの派遣医師 2 名（アルジェリア・韓国）の受入研修実施（5 日間）。

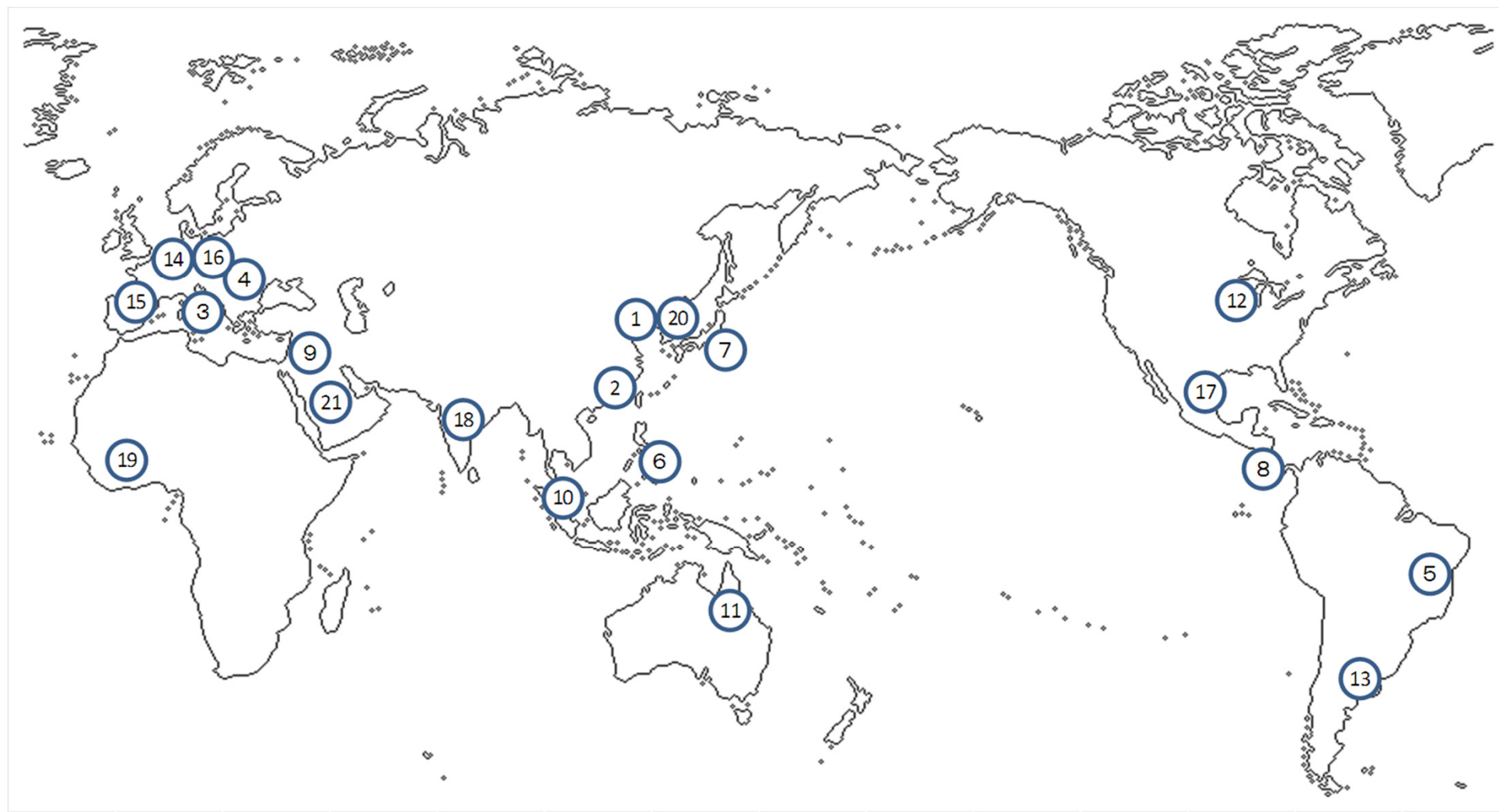
IAEA協働センターの認定状況

H26.4.22 被爆者支援課

NO	指定時期	所 在	機 関 名	テ ー マ
1	2004.12	韓国	Seoul National University College of Medicine (SNU)	核医学と分子イメージングの研究・教育活動
2	2004.12	中国	Zhejiang University, Institute of Agricultural Science	植物の品種改良と遺伝
3	2005.4	イタリア	Sincrotrone Trieste - ELETTRA	シンクロトロン放射光の応用におけるキャパシティビルディング
4	2005.7	ハンガリー	Central Agricultural Office, Food and Feed Safety Directorate	マトリックス標準物質の製造と特性
5	2005.8	ブラジル	Animal Biotechnology Laboratory, Sao Paulo University	動物のゲノミクスおよびバイオインフォマティクス
6	2005.9	フィリピン	Philippine Nuclear Research Institute (PNRI)	有害な藻類ブルーム
7	2006.1	日本	(独法)放射線医学総合研究所 National Institute of Radiological Sciences (NIRS)	低線量放射線の生物影響 重粒子線がん治療 分子イメージング
8	2006.11	コスタリカ	Centro de Investigacion en Contaminacion Ambiental(CICA) at the University of Costa Rica	食品および環境保護のためのeラーニングとキャパシティビルディングの促進
9	2006.9	シリア	Atomic Energy Commission of Syria (AECS)	NORM(自然起源放射性物質)の標準物質と放射線生態学の特性評価
10	2007.3	マレーシア	Malaysian Nuclear Agency	天然高分子の放射線加工
11	2007.4	オーストラリア	Australian Nuclear Science and Technology Organisation (ANSTO)	中性子散乱技術
12	2008.2	USA	Argonne National Laboratory (ANL)	原子力科学と応用における教育と人材のキャパシティビルディング
13	2008.8	アルゼンチン	Balseiro Institute, University of Cuyo /Atomic Energy Commission	原子力技術とその応用の人材育成
14	2009.1	オランダ	Reactor Institute Delft (RID), Delft University of Technology (TUD)	研究炉の中性子放射化に基づく方法論
15	2010.1	スペイン	Centro Nacional de Aceleradores (CAN)	海洋資料中の長寿命放射性核種の研究のための加速器に基づく分析法
16	2010.1	ポーランド	Institute of Nuclear Chemistry and Technology (INCT)	放射線処理や産業線量測定
17	2010.1	メキシコ	Programa Moscas de la Fruta (PMF)/ Mexican Ministry of Agriculture	ミバエに対する不妊虫放飼法(SIT)の開発と応用
18	2010.1	インド	St. John's Research Institute (SJRI), St. John's National Academy of Health Sciences	栄養学における原子力技術
19	2010.7	ブルキナファソ	Centre International de Recherche-Développement sur l'Élevage en zone Subhumide (CIRDES)	ツェツェバエに対する不妊虫放飼法(SIT)の研究と方法開発
20	2011.5	韓国	Korea Institute of Nuclear Safety (KINS)	地上と海洋環境
21	2013.1	サウジアラビア	King Faisal Specialist Hospital and Research Centre	放射線医学

※IAEAのホームページより <http://www-naweb.iaea.org/na/collaborating-centres.html>

IAEA協働センターの認定状況



放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE)について

Hiroshima International Council for Health Care of the Radiation-Exposed

人類で最初に原子爆弾による惨禍を被った広島が有する被曝者治療の実績及び放射線障害に関する調査研究の成果について、国内外の被曝者の医療に有効に生かしていくための体制を作り、広島の世界への貢献と国際協力の推進に資することを目的として、平成3(1991)年に設立されました。

設立以来、世界各地の放射線被ばく者医療関係者を対象とした研修の実施、医師等専門家の世界各地への派遣、原爆医療解説書の出版やシンポジウムの開催など、放射線被ばく者医療の普及に努めています。

平成22(2010)年8月には、国際原子力機関(IAEA)と覚書を取り交わし、放射線被ばく者医療の分野における協働事業を実施しています。また、東日本大震災に伴い発生した、福島第一原子力発電所事故においても、放射線技師等の派遣や、国に対する「放射線被ばくに関する提言」を行うなど、支援を行っています。

主な事業

- ① 医師等の受入・派遣
 - ・ 医師等の受入研修実績 (H26.3 現在)
1,339名 (韓国, ブラジル, アメリカ等 18か国)
 - ・ 医師等の派遣実績 (H26.3 現在)
195名 (韓国, カザフスタン, ベラルーシ等 16か国)
- ② 放射線被ばく者医療普及啓発事業
書籍等の出版, シンポジウム・講演会の開催
ホームページによる情報発信等
- ③ 人材育成事業
医師, 医学生等の IAEA への派遣等
- ④ 共同研究事業
IAEA との協働事業の一環として共同研究の実施
- ⑤ 福島支援
医師等の研修受入等

構成機関

(社) 広島県医師会, (社) 広島市医師会, 広島大学, 広島大学病院
広島大学原爆放射線医科学研究所, (公財) 放射線影響研究所
(公財) 広島原爆障害対策協議会, 広島赤十字・原爆病院
広島県, 広島市